



共通教育科

檀浦 麻衣 准教授

【研究分野】

英文学

【キーワード】

シェイクスピア劇、イギリス・ルネサンス文学、ジェンダー、女性表象

【URL】

<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=350dan>

シェイクスピア劇の研究

研究概要

ウィリアム・シェイクスピアを中心とするイギリス・ルネサンス演劇を研究しています。『ロミオとジュリエット』や『ヴェニスの商人』は400年も昔にイングランドで書かれたお話ですが、現代に至るまで世界中で読み継がれ、上演されています。その理由のひとつに、現代のわたしたちがふと我が身を重ねてしまうような現実感があることが挙げられます。このようなシェイクスピア劇の面白さと魅力を、テキスト分析とともに魔女狩りや異性装といった文化的背景から読み解きます。

研究紹介

●シェイクスピア劇における聴覚的イメージとその演劇的効果

イギリス・ルネサンス演劇は「見る」というよりも「聞く」(hear a play) 娯楽でした。演劇の受容形態が異なることによって、当時の観客と現代のわたしたちが台詞を聞いて想像する劇世界には違いが生まれます。オリジナルの劇世界はどのようなものだったのか、この問いに対する答えをテキストの聴覚に関する単語に注目し、解明しています。

●エリザベス朝演劇における魔女の表象

17世紀イングランドでにおいて、社会の規範から逸脱した女性たちは「魔女」のレッテルを貼られ、処罰の対象となりました。魔女と呼ばれた女性たちが、演劇作品ではどのように表象されているかを分析し、そこに反映された同時代の人々の不安と恐怖を明らかにしました。

講座テーマ紹介

以下のようなテーマで講座が可能です。

- ・シェイクスピア喜劇の面白さ
- ・英文学と英語教育
- ・エリザベス朝演劇における魔女の表象

アピールポイントなど

教育面では、それぞれの専門領域で使うことのできる英語力の養成を目指して授業を行っています。また、英語圏文学・文化の研究をもとに、学内外の異文化交流と他者理解の促進に貢献できるよう努めてまいります。